

## 第128回:総政治局長と参謀総長、どっちがエライ?

先の連休中に3日連続で高尾山に登り、たるんだビール腹を鍛えようと奮闘したが、猛暑のなか調子に乗ると恐いよと人から脅かされたため、最終日は軽く流し、近所でDVDを借りて早めに帰宅した。体のこりをほぐすには戦争映画が一番だと決め込み、むかし観たことのある「レッドオクトーバーを追い」を肴にして麒麟ビールを大量に飲んだ。

10月革命を題名の枕詞にしたこの映画は、1980年代半ばのチェルネンコ書記長時代のソ連が舞台。主人公はショーン・コネリー扮する原子力潜水艦レッドオクトーバー(SSBN)のラミウス艦長。彼は積もり積もったソ連への遺恨から米国への亡命を決意する。破釜沈舟(釜を割って舟を沈める)と云うか、ラミウス艦長は亡命決行書をクレムリンに発信することで自ら退路を断ち、航路をアメリカに向ける。一方、彼の決意を知ったクレムリンは慌てて大西洋艦隊を動員、NATOには軍事演習と偽りつつ攻撃型原潜による弾道ミサイル原潜の搜索と攻撃が始まる。米国はソ連海軍の奇怪な行動の裏に何があるのか、その意図を探るべく原潜ダラスを出動させて、虚々実々の駆け引きを演じつつ、レッドオクトーバーが敵か味方か識別しようとする。劇中ラミウス艦長が部下の士気を鼓舞するため、敵ソナーに検知されるリスクを無視してソ連国歌を合唱させ、ダラスのソナー士官がその音を聞いて驚愕するシーンは、「眼下の敵」のUボート vs 駆逐艦の対決を思い出す名場面だ。

ストーリーの展開で面白かったのは、ラミウス艦長が原子力潜水艦を手土産にして米国亡命を図る際、真っ先に執った行動がプーチンといういかにも性格の悪そうな政治将校の排除であった。米国軍や日本の自衛隊には政治将校という制度はない。映画でプーチン将校は共産党から派遣された艦長の監視役といった役割であった。映画の中でラミウス艦長とプーチン政治将校がそれぞれのカギを一緒に差し込んで作戦命令書の開封を行うシーンがあり、この二人は同格の指揮官として描かれている。

この映画における政治将校の描写は正しい。政治将校とは、共産主義国において党が軍隊を統制するために現場に派遣する高級将校を指し、戦闘指揮官とは異なる指揮系統に属し、プロパガンダや反共思想の取り締まりを行う政治指導者である。レーニンが考案したこのシステムは、現在中国やベトナム、北朝鮮でもしぶとく生き残っている。

実はこの制度、共産国以外にも前例がある。一つはヒトラー暗殺失敗後に第三帝国が採用した将校による将校の監視制度、もう一つは台湾のケースである。1975年に蒋介石総統が死去し、あとを継いだ息子の蔣経国が台湾に政治将校制度を導入したことがある。蒋介石の息子と聞けば、当然反共の闘士と思うが、何と彼は国民党と共産党が蜜月関係にあった国共合作時代にソ連に留学した元共産党員である。その後、反共クーデタを発動し、共産党と袂を分かった蒋介石は彼を帰国させようとしたが、スターリンは体よく息子を人質に取り、ロシア人と結婚させ10年以上もソ連に留め置いた。もっとも当時の彼は蒋介石もスターリンも手を焼くバリバリのトロツキストだったようで、後年台湾総統に就任して導入した政治将校制度は蔣経国アカの時代の名残だったのである。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

中国共産党もコミンテルンの指導の下、いち早く政治将校制度を導入した。国共内戦の最終局面で中国人民解放軍は四つの野戦軍に収斂されて行き、そのなかの最強勢力が二野と四野であった。第四野戦軍の最高指揮官は司令官・林彪(後に元帥、十大元帥の第3位)、政治委員・羅榮桓(同第7位)、第二野戦軍は司令官・劉伯承(同第4位)、政治委員・鄧小平であった。司令官と政治委員は同格であり、当時司令部が第二野戦軍に発信する命令書を常に「劉鄧あて」としたように、彼らはワンセットの存在であった。鄧小平は建国後に毛沢東や周恩来を見習ってシベリアンの道を歩んだ関係で元帥には任命されなかったが、もしも鄧小平が制服組を選択すれば、10大元帥は朱徳・彭徳懐・林彪・劉伯承・賀龍・陳毅の後、羅榮桓、聶榮臻、鄧小平、粟裕と続き、徐向前と葉劍英が大將に回ったはずだ。

閑話休題。中国人民解放軍は党中央軍事委員会の指導下にあり、主席が胡錦濤、副主席が習近平で、この二人だけが軍隊の活動行事で階級章の無い軍服を着用しているが、他のメンバーは、2人の副主席と8人の委員の全員が制服組の上将である。

副主席の郭伯雄と徐才厚は軍職を持たず政治局委員専従、残る8委員は国防相に相当する国防部長、四総部責任者(総参謀長、総政治部主任、総後勤部主任、総装備部主任)、及び空軍司令員、海軍司令員、第2砲兵司令員(戦略ミサイル部隊)である。この8人で一番偉いのは誰か? 最近、文革で失脚し非業の死を遂げた劉少奇元国家主席の息子の劉源上将(総後勤部政治委員)が習近平や薄熙來の系譜に連なる太子党の有望株として注目されているようだが、もしも胡錦濤が劉源に向かって「君に好きなポストを呉れてやるよ」と云えば、彼は即座に総政治部主任を選ぶだろう。次が総参謀長で、その次が国防相か。それほど政治将校の地位は高く、権限は強いのである。

ついにないだ中国の隣の北朝鮮で、強硬派の李英鎬総参謀長が突如解任され、蜂の巣をつついたような大騒動になった。最終的に金正恩第一書記が元帥に就任し、玄永哲大將が次帥に昇格した上で総参謀長に就任して一応の決着をみた。興味深いのは7月19日に開催された元帥授与決意大会に出席した軍幹部の序列が、崔竜海・総政治局局長(次帥)、玄永哲・総参謀長(次帥)、金正党・人民武力部長(次帥)の順となっており、その呼称は若干異なっているが、同じ社会主義国として軍隊の秩序もよく似ているものだと感心した次第である。軍事オタクが自己チュウの駄文を書いたと反省している。乞う御海容。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年7月19日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。